

## 第3回 職業選択と性別について

### 1. 設問

【問1】 (1)男性が向いている職業は何だと思えますか。その理由を含めてお答えください。  
(2)女性が向いている職業は何だと思えますか。その理由を含めてお答えください。

【問2】 社会では「男は仕事、女は家庭」というように性別を理由として役割を固定化する考え方がいまだ根強く、このような考え方が職業選択にも影響を与えることが懸念されます。性別にとらわれず、男性も女性もともに多様な選択肢の中から自分の希望する職業を選ぶよう、例えば、学校で使用する生徒向けのパンフレットを作成するとしたら、どのような内容を盛り込むと良いと思えますか。

### 2. 設問の背景

政府では若者が自分らしい「生き方」、「働き方」を考えながら自分の仕事を選び、社会で活躍していくことを応援している。若者の意見を聴き、若者の多様な職業選択を可能にするための検討に資するため、この課題を設定した。

### 3. 意見募集期間

平成 24 年 12 月 7 日～12 月 24 日

### 4. 回答者数等

128 名、男性 63 名、(49.2%)、女性 65 名 (50.8%)、提出率 58.2%。

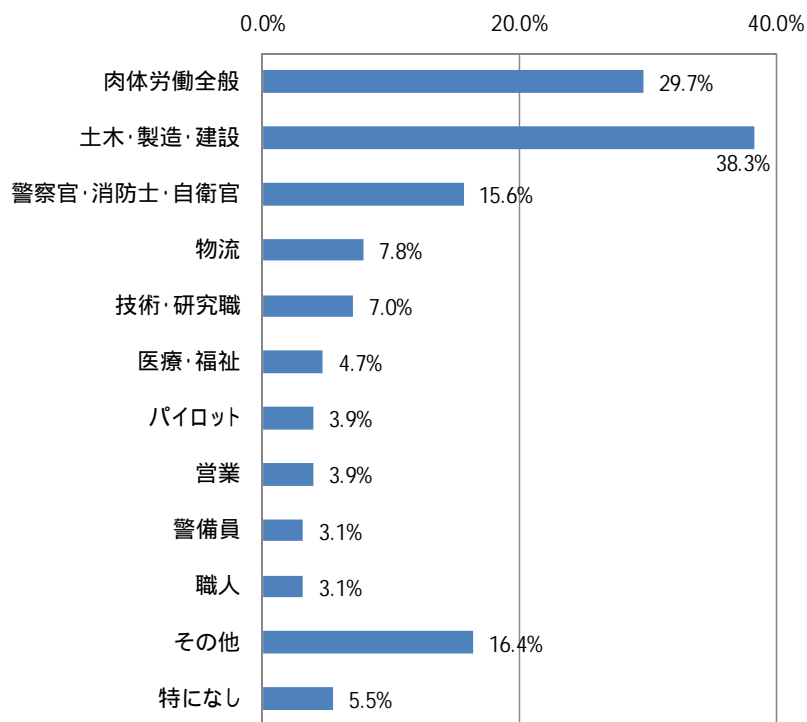
## 5. 問の分析

- 【問1】 (1)男性が向いている職業は何だと思えますか。その理由を含めてお答えください。  
(2)女性が向いている職業は何だと思えますか。その理由を含めてお答えください。

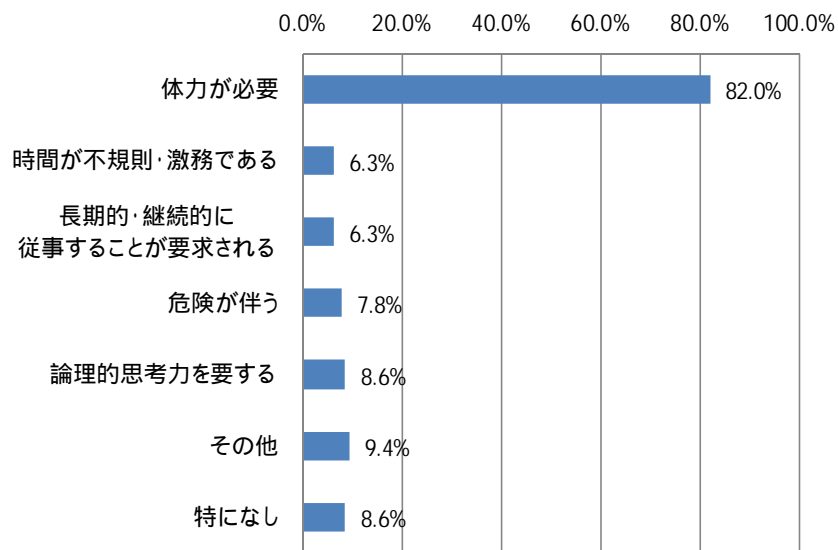
### 全体的な傾向

男性が向いていると思う職業は「土木・製造・建設」が最も多く 38.3%、理由は8割以上が「体力が必要」であるからと回答している。女性が向いていると思う職業は「看護師」が最も多く 21.9%、「保育士」(19.5%)が続く。「繊細さ・対人スキルが求められる」職業が向いているという意見が多かった。

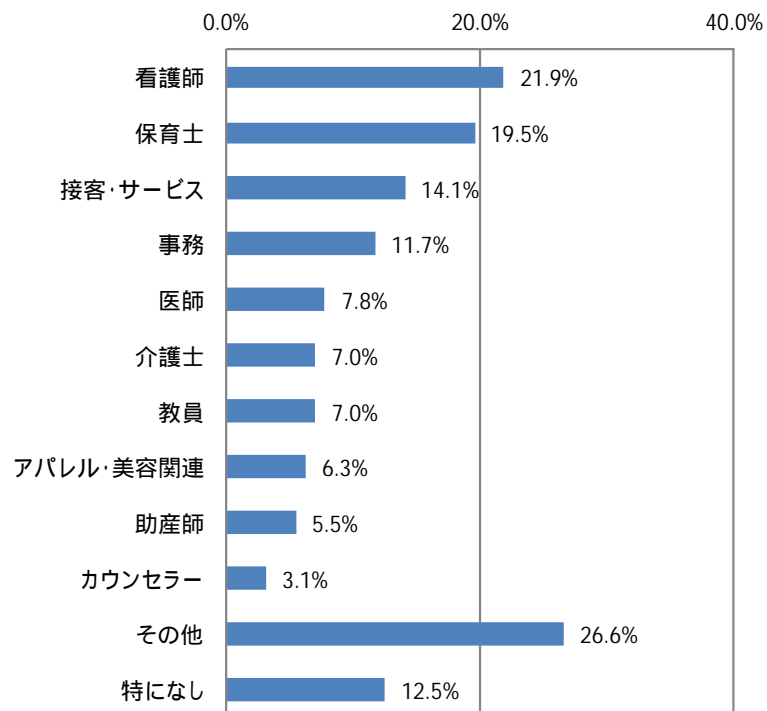
### (1)男性が向いていると思う職業



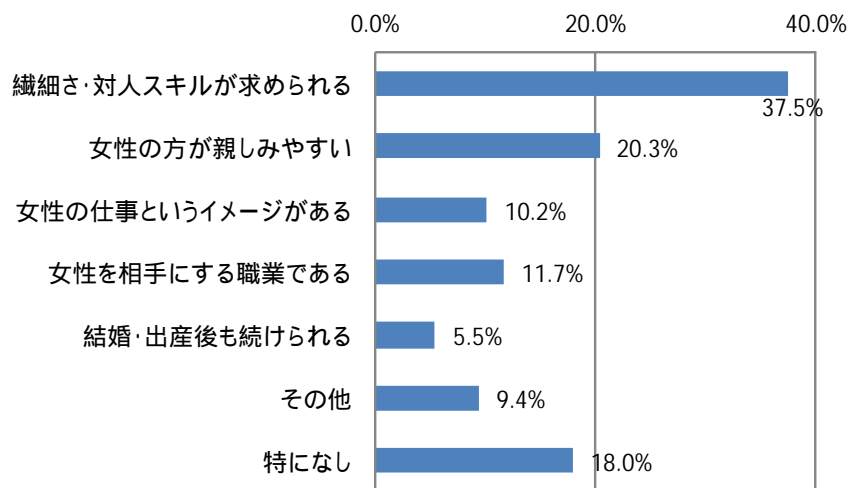
## その理由



## (2) 女性が向いていると思う職業

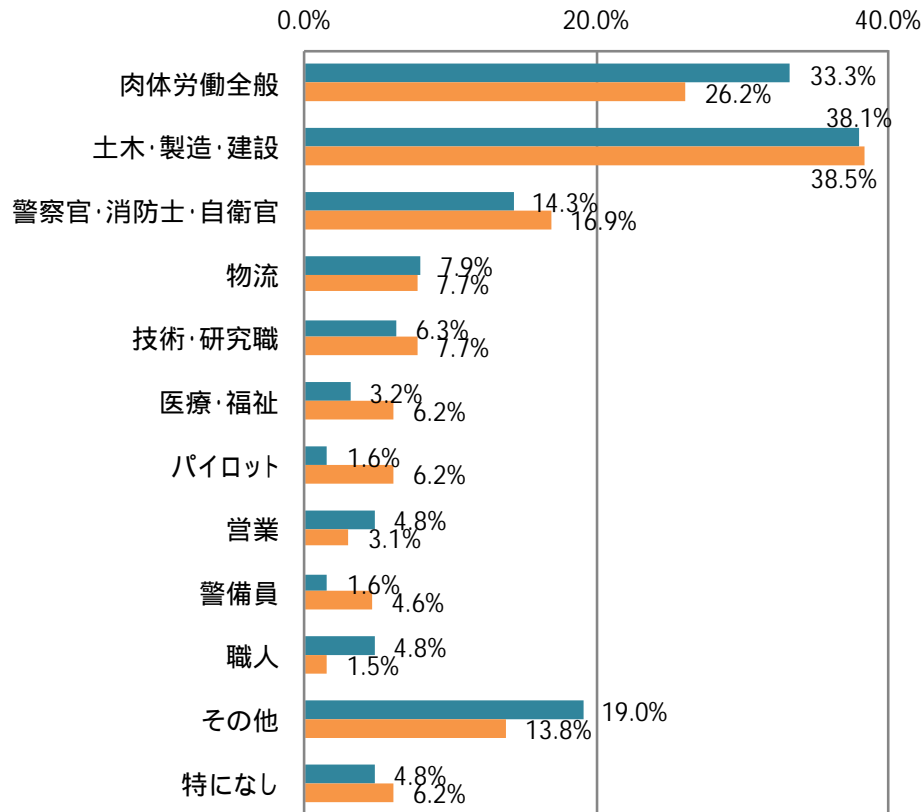


## その理由

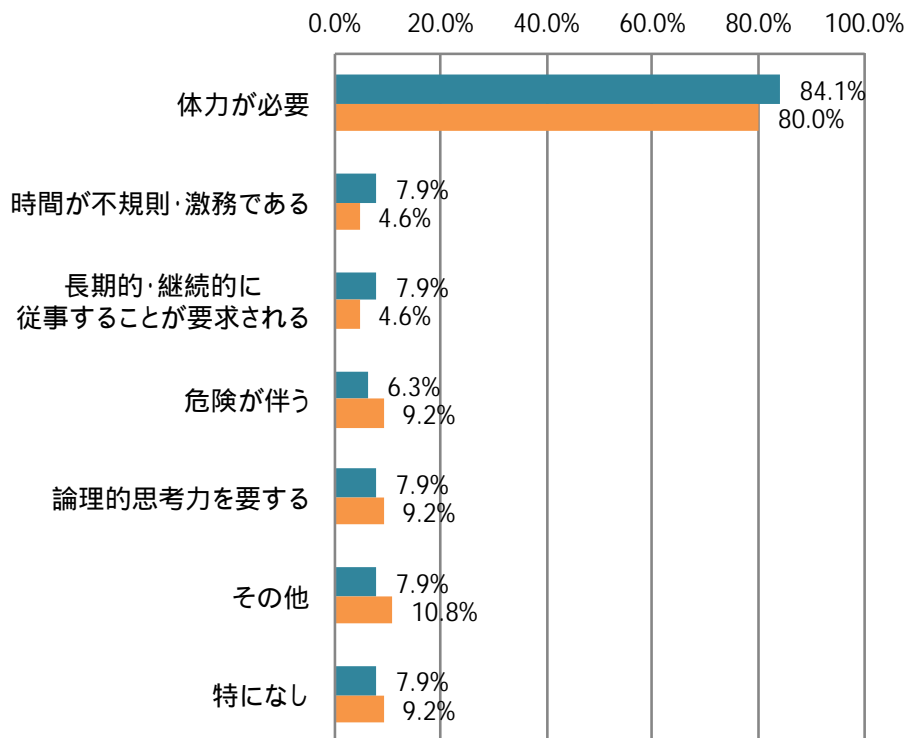


## 男女別の回答

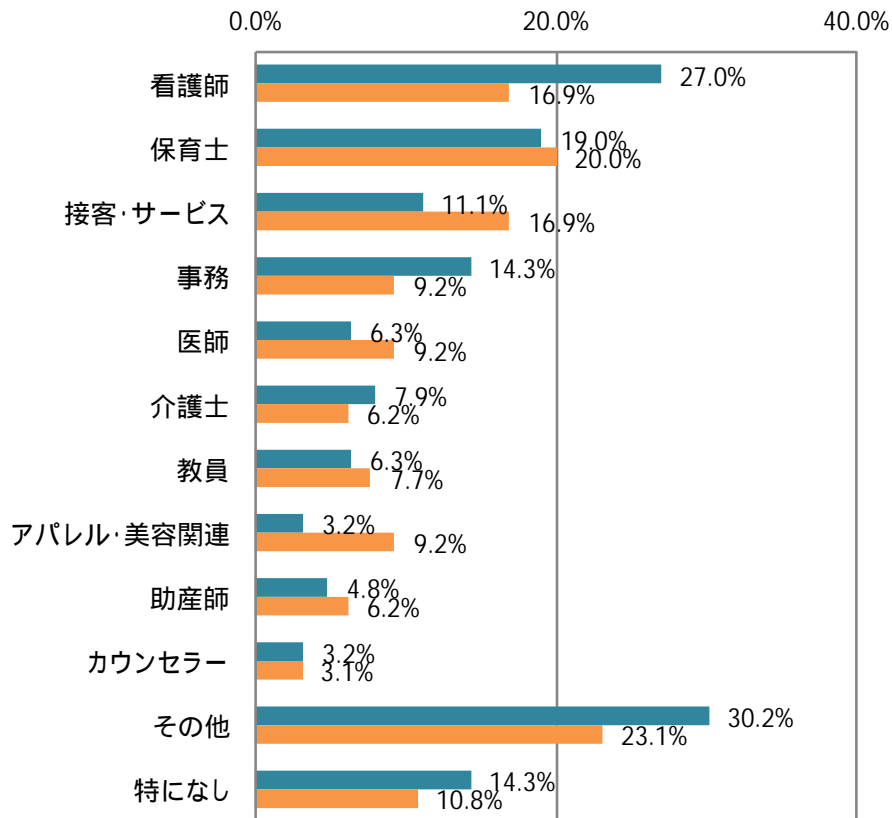
### (1) 男性が向いていると思う職業



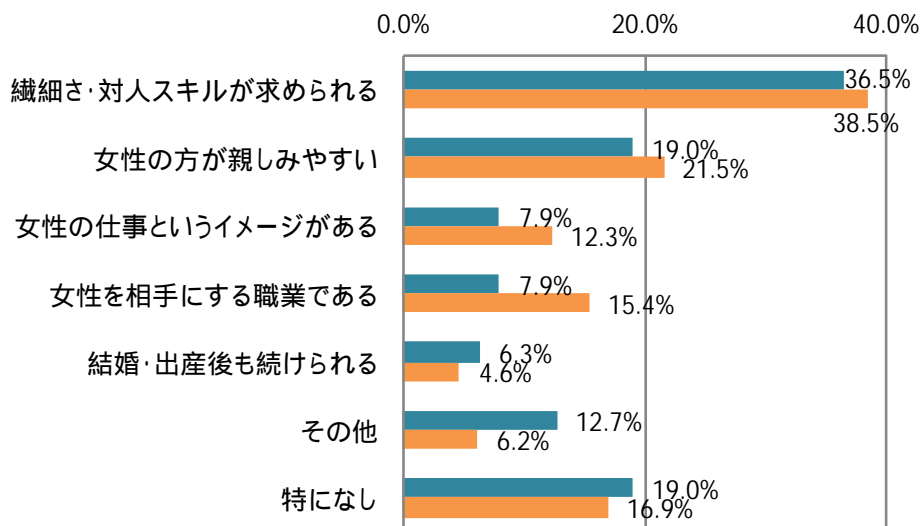
### その理由



## (2) 女性が向いていると思う職業



## その理由



## 職業別の回答

### (1) 男性が向いていると思う職業

上段:件 下段:%	実合計	肉体労働全般	土木・製造・建設	警察官・消防士・自衛官	物流	技術・研究職	医療・福祉	パイロット	営業	警備員	職人	その他	特になし	
全体	128	38	49	20	10	9	6	5	5	4	4	21	7	
	100.0%	29.7%	38.3%	15.6%	7.8%	7.0%	4.7%	3.9%	3.9%	3.1%	3.1%	16.4%	5.5%	
職業	学生	71	24	29	6	7	5	1	3	2	1	2	13	5
		100.0%	33.8%	40.8%	8.5%	9.9%	7.0%	1.4%	4.2%	2.8%	1.4%	2.8%	18.3%	7.0%
	正規職員	30	7	13	6	2	2	4	1	1	3	1	2	1
		100.0%	23.3%	43.3%	20.0%	6.7%	6.7%	13.3%	3.3%	3.3%	10.0%	3.3%	6.7%	3.3%
	非正規職員	23	6	6	7	1	1	1	1	1	0	0	4	1
		100.0%	26.1%	26.1%	30.4%	4.3%	4.3%	4.3%	4.3%	4.3%	0.0%	0.0%	17.4%	4.3%
	家事従事者	4	1	1	1	0	1	0	0	1	0	1	2	0
		100.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	50.0%	0.0%
	無業者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

### その理由

上段:件 下段:%	実合計	体力が必要	時間が不規則・激務である	長期的・継続的に従事することが要求される	危険が伴う	論理的思考力を要する	その他	特になし	
全体	128	105	8	8	10	11	12	11	
	100.0%	82.0%	6.3%	6.3%	7.8%	8.6%	9.4%	8.6%	
職業	学生	71	59	5	3	5	6	5	8
		100.0%	83.1%	7.0%	4.2%	7.0%	8.5%	7.0%	11.3%
	正規職員	30	25	2	2	1	3	2	1
		100.0%	83.3%	6.7%	6.7%	3.3%	10.0%	6.7%	3.3%
	非正規職員	23	18	1	3	3	1	3	2
		100.0%	78.3%	4.3%	13.0%	13.0%	4.3%	13.0%	8.7%
	家事従事者	4	3	0	0	1	1	2	0
		100.0%	75.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%
	無業者	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

## (2) 女性が向いていると思う職業

上段:件 下段:%	実合計	看護師	保育士	接客・ サービス	事務	医師	介護士	教員	アパレル・美 容関連	助産師	カウンセ ラー	その他	特にな し	
全体	128	28	25	18	15	10	9	9	8	7	4	34	16	
	100.0%	21.9%	19.5%	14.1%	11.7%	7.8%	7.0%	7.0%	6.3%	5.5%	3.1%	26.6%	12.5%	
職業	学生	71	14	13	8	7	7	7	8	3	2	3	19	11
		100.0%	19.7%	18.3%	11.3%	9.9%	9.9%	9.9%	11.3%	4.2%	2.8%	4.2%	26.8%	15.5%
	正規職員	30	8	5	6	3	2	1	0	2	4	1	6	3
		100.0%	26.7%	16.7%	20.0%	10.0%	6.7%	3.3%	0.0%	6.7%	13.3%	3.3%	20.0%	10.0%
	非正規職員	23	6	6	3	4	1	1	0	1	1	0	8	2
		100.0%	26.1%	26.1%	13.0%	17.4%	4.3%	4.3%	0.0%	4.3%	4.3%	0.0%	34.8%	8.7%
	家事従事者	4	0	1	1	1	0	0	1	2	0	0	1	0
		100.0%	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
無業者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

## その理由

上段:件 下段:%	実合計	繊細さ・ 対人ス キルが 求めら れる	女性 の方が親 しみや すい	女性 の仕事と いうイ メージ がある	女性を 相手に する職 業であ る	結婚・ 出産後 も続け られる	その他	特にな し	
全体	128	48	26	13	15	7	12	23	
	100.0%	37.5%	20.3%	10.2%	11.7%	5.5%	9.4%	18.0%	
職業	学生	71	27	15	5	6	4	6	15
		100.0%	38.0%	21.1%	7.0%	8.5%	5.6%	8.5%	21.1%
	正規職員	30	11	6	3	6	2	3	5
		100.0%	36.7%	20.0%	10.0%	20.0%	6.7%	10.0%	16.7%
	非正規職員	23	8	4	4	2	1	3	3
		100.0%	34.8%	17.4%	17.4%	8.7%	4.3%	13.0%	13.0%
	家事従事者	4	2	1	1	1	0	0	0
		100.0%	50.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無業者	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	



## 【提出された主な意見の要旨】

### 男性が向いていると思う職業

#### 肉体労働全般

- ・ 肉体労働のような仕事。重いものを持ったり体力がかなり必要だったり危険をはらむようなもの。体力的に女性ではかなわない仕事があるから。(女性・20歳・大学生)
- ・ 重量物の運搬等の肉体を酷使する、あるいは筋力を必要とする仕事。一般的に男性は女性に比べ筋力がつきやすい傾向があるため。(男性・29歳・自営業・自由業)
- ・ 主に体力を使う職業。しかしこれは義務教育時における男女差別の結果なのか、生物学的問題なのかは分からない。もしかしたら女性が積極的に筋力アップすることが奨励される世の中になったら、体力を使う職業における女性の進出も変わるかもしれない。(男性・21歳・大学生)

#### 土木・製造・建設

- ・ 鳶職等の建設業(現場)や、その他肉体的危険を伴う労働。個人差はあれど、生物学的統計から男性の方が力が強く、肉体労働に向いているため。(男性・29歳・パート・アルバイト)
- ・ 力仕事。男性と女性の体のつくりで決定的に違う、埋めがたいものとして腕力などの力の差だと思う。なので、例えば建設現場で働いたりするのは男性向きだろう。(女性・19歳・大学生)
- ・ とび職。運動神経と体力が必要だから(女性・23歳・専門学校などその他の学校の学生)

#### 警察官・消防士・自衛官

- ・ 敢えて一つだけ挙げるならば、自衛官である。何故なら、軍隊(日本では自衛隊)という組織が、全世界的に圧倒的な男社会であるという現状もあるし、旧来の「妻子や家を身体を張って守る」という男性像を、ある意味最も物理的に体現できるのが、自衛官という職業だと感じたからだ。また、身体の作りやスタミナから言っても、やはり最終的には、女性より男性の方が自衛官に向いている。(男性・22歳・パート・アルバイト)
- ・ 警察官、海上保安庁、自衛隊。体力を要する、危険な所に行く、女性はトイレや生理の心配がある。(女性・29歳・派遣社員・契約社員)
- ・ 消防や山岳救助などのうち、実際の現場での仕事は、男性の方が向いていると思う。技術が進んだことで多くの仕事には性別に関係なくなってきたと思うが、その時々で体力や腕力を必要とされる仕事は、やはり男性の方が向いているように思う。(女性・16歳・高校生)

#### 物流

- ・ 建築業・工業など力仕事の多い仕事や運輸など業務上不規則な生活が多い仕事。なぜなら、生理的に体力面でのハンディキャップが男女間にはあるからである。(男性・17歳・高校生)
- ・ 配送関係の仕事や工事の仕事。女子より体格が大きいし、力もあるから。(女性・17歳・)

高校生)

- ・ 運送や土木作業など体力的な特徴を活かせる仕事。(女性・23歳・正規の職員・従業員)

### **技術・研究職**

- ・ 途中のブランクなく、継続的に技術を磨いていかなければいけない研究・技術職。(男性・24歳・正規の職員・従業員)
- ・ 工学系の仕事は男性が向いているのではないかと思う。なぜなら、そもそも男女の脳は違っており、男性は平均的に女性よりも科学や物理などの理科学的な思考をもっているし、体力的にも男性のほうが女性より優れているのではないかと思ったからである。(女性・19歳・大学生)
- ・ エンジニアや研究者。理論的に物事を考えたり、特定の分野に関して深く追究するのが得意なことが多いと感じるから。(男性・25歳・自営業・自由業)

### **医療・福祉**

- ・ きめ細やかな気配り、ケアが必要なので女性が求められがちだが、介護士だと思う。力仕事が多いためである。(女性・25歳・正規の職員・従業員)
- ・ パイロット、医師。労働環境が良いとはいえない気がする。特に医師は、告知などするとき感情が入ってはいけないが、女性のほうが、情にもろい気がするから。(女性・28歳・正規の職員・従業員)
- ・ 公安職や介護医療の分野だと思う。どの職場においても力仕事は男性がするのが向いていると思う。特に警察・消防・自衛隊・医療現場・介護現場では男性の能力が発揮する場だろう。これらの職場に女性がいても何も問題はないが男性の力は必要だと思う。(男性・17歳・高校生)

### **パイロット**

- ・ 男性は古来から狩人として発達してきており、テストステロンにより生まれつき右脳が発達しやすく、女性より空間把握能力が高い人が多いので、そのスキルを生かせる、レーサーやパイロットなどの職業が向いていると思う。(男性・14歳・中学生)
- ・ 力のいる仕事。長時間の仕事など。工事関係、パイロット、運転手、など。(女性・19歳・専門学校などその他の学校の学生)
- ・ 建築、運搬、飛行機などの運転手など空間認識が必要な仕事が向いていると思う。幼少期に女の子はことばや人の表情をもち、男の子は車などで遊ぶのに興味をもつと言われるのもこう思われた理由の一つだと思う。(女性・15歳・高校生)

### **営業**

- ・ 営業などのいわゆるフロント業務。男性の傾向として、女性と比較して体力がある・論理的思考ができるといった特徴がある。どれだけ質の良い仕事をしていても、会社では量も同時に求められる。そのため体力を要する仕事は男性に向いている。また論理的思考や体力が必要な営業などはその典型(男性・23歳・大学生)
- ・ 営業やコンサルタントなど、あちこち飛び回る仕事。男性は一般的に体力があり、ホルモンサイクルもないため、継続的なハードワークにも耐えられるから。(男性・20

歳・大学生)

- ・ 肉体労働、深夜の仕事、飛び込み営業。理由としては、肉体労働は、力仕事なので。女性は男性より筋肉量も劣るし、月経等があり1ヶ月同じ体力ではない。深夜の仕事は、やはり女性は痴漢や暴漢など危険が大きいので避けた方が良いと思う。飛び込み営業は、私の勤務先が飛び込み営業、いわゆる訪問販売を生業としているが、女性の営業は、営業成績がふるわない。女性社員に聞くと、お客様とは世間話でおわってしまうことが多いし、自分も資金面等遠慮して踏み込めないと語っているので、思い切りのよさが男性にはあるので向いていると思う。(女性・28歳・家事に従事)

### **警備員**

- ・ 警備員。見た目の威圧感が必要な職業は“男性に見えること”も必要。実際は格闘スキルがあっても女性というだけでは効果が低いと考える。(女性・27歳・正規の職員・従業員)
- ・ 自衛官やガードマン。身体的なギャップは男女間で大きい。安全上、男性が向いている。(男性・24歳・正規の職員・従業員)
- ・ 警備関係やエンジニア関係だと思う。その理由は、警備は常に危険と隣合わせで、しかも本当に過酷な職業だから。また、エンジニアは肉体的・精神的にもかなりきつく、労力を費やす職業だから。(女性・19歳・大学生)

### **職人**

- ・ 日本料理の板前。伝統的に男性の職場だから。(女性・28歳・家事に従事)
- ・ 途中で出産のために抜ける必要がないので、一人前になるまでに、若いころから長期間の年月を要する仕事には向く。伝統芸能などの無形文化財の継承など「弟子入り」するような仕事は男性向きか。(男性・24歳・正規の職員・従業員)
- ・ 男性のほうがより一つのことに没頭しやすいと思うので、研究業や職人的な職業は向いている。(男性・17歳・高校生)

### **その他**

- ・ 管理職などの企業において守秘義務が必要な業務、大きな計画性を持つ業務。男性は目先の利益より長期的な利益を見る力があるような気がするから。(女性・27歳・家業の手伝い)
- ・ 保育士や教師など。プライベートの変化(結婚・出産)が女性に比べて仕事に影響することが少ないので教育分野など長い間特定の人と関わることになる仕事が向いていると思う。(女性・25歳・派遣社員・契約社員)
- ・ 縦で繋がる集団に重きを置く仕事。社会形成・競争の原理は男性の性格に向いていると考える。(男性・27歳・自営業・自由業)

### **特になし**

- ・ 男性、女性が向いている職業などないと思う。もちろん力仕事は男性が有利だが別に女性ができないわけでもない。性別で職業の向き不向きは判断できないと思う。(男性・20歳・大学生)
- ・ 男性でも女性でもその職業をやりたいと思う気持ちが大切なので、男性が向いている

- 職業は特にないと思う。(女性・16歳・パート・アルバイト)
- ない。個々の能力で判断する。(男性・25歳・家業の手伝い)

## **女性が向いていると思う職業**

### **看護師**

- 資格を取って就く看護師などの仕事。細かい点に気づくことが求められるし、子育てをして仕事を休んでもまた復帰(別の職場を含め)できるから。(女性・29歳・正規の職員・従業員)
- 病院の看護師(介護や福祉施設は別)。前は看護婦で呼んでいたが男女同権で変わったのは分かるのだが異性が対応されると何故か違和感を感じている。(女性・29歳・正規の職員・従業員)
- 医療関係の仕事。特に看護師。理由として、きめ細やかな作業が必要になるし、心のケアという意味でも女性の方が優れていると感じるから。(男性・28歳・正規の職員・従業員)
- 看護師。度胸があるから。(男性・15歳・高校生)

### **保育士**

- 保育士は女性の方が向いている。子どもは女性になつきやすいので女性の方が良い。また、育児を主に担当する母親とも、保育士が女性の方が育児の悩みを相談しやすい。(女性・26歳・正規の職員・従業員)
- 保育士。力仕事があるから男性の保育士も必要であるが、やはり女性が中心となって担う職業かと思う。子どもにとっては女性のほうが親しみやすいのではないかと思う。イケメンの保育士さんは子どもに人気があるけれども、親しみやすさでは女性のほうが上かなと。(女性・24歳・専門学校などその他の学校の学生)
- 保育士。母の子どもへの愛情は何ものにも勝るから。(男性・27歳・自営業・自由業)

### **接客・サービス**

- サービス業。男性よりも愛想が良いとよく言われているし、男性も女性も女性の失敗にはおおらかなので、お客さんと直接接する機会の多いサービス業は女性のほうが向いている。(男性・23歳・正規の職員・従業員)
- 企業の受付。こういった仕事は女性がしているほうが見た目に良い。(女性・19歳・大学生)
- サービス業など細やかな心遣いを必要とする職が向いていると思います。(女性・27歳・パート・アルバイト)

### **事務**

- 会計や経理等の職業は細かい作業や正確性を求められる点から、女性の方が向いている。(男性・25歳・正規の職員・従業員)
- 女性が向いている職業は主に、思考・計画性を伴う物であろう。例えば、事務職や接客業などである。女性の場合は主にして「臨機応変に動ける仕事」が基本とされるのではないだろうか。(男性・19歳・専門学校などその他の学校の学生男性)

- ・ 秘書。細かい作業や複数の仕事をこなすことができるから。(女性・23歳・専門学校などその他の学校の学生男性)

### 医師

- ・ 医療系の仕事。これは向いているか向いていないかというよりは、女性が医療に携わることが増えてほしいという意見である。自分が女性だからということもあるかもしれないが、やはり同性の医者に自分の身体を見てもらえたほうが安心するし、気軽に相談できる。また、女性のほうが相手の気持ちを考えた発言ができると思うので患者さんとのコミュニケーションという点でも女性のほうが優れているのではないかと思う。さらに、手先が器用なイメージが女性にはあるため、手術などもうまくできるのではないかと思う。(女性・19歳・大学生)
- ・ 医師、販売業。表情を読み取るのが男性よりもうまいと言われる女性だからこそ向いている仕事だと思う。また言い回しに気を使うのもうまい人が多く、押し付けがましくない態度をとれる人が多い女性は向いていると思う。(女性・15歳・高校生)
- ・ 強いて言うならば、産婦人科等の女性に関係する、医療関係の仕事。女性だから分かることやできることがあるから。(男性・15歳・高校生)

### 介護士

- ・ 男性に比べればということであるが、やはり女性には母性本能があると思うので、保育関連の仕事や病院・福祉施設等の福祉関係の仕事には向いているように思う。端的に言えば面倒見が良いというのが理由にはなる。(女性・19歳・大学生)
- ・ 老人介護や学校の先生、カウンセラーなど。女性の方が人を気遣ったり気持ちを汲み取ることに秀でているから。人と接することが主な仕事や人の気持ちを和らげる仕事に向いていると思う。(女性・15歳・高校生)
- ・ 女性には人を癒す優しさを感じる。そのため、看護師や介護士などの人と直接関わる仕事が向いている。(男性・21歳・大学生)

### 教員

- ・ 幼稚園から高校までの教員、保育所の保母。女性が多いイメージがあるうえに、ある程度女性が占める割合の多い職種であり、女性の産休などへの理解があるから。(男性・21歳・大学生)
- ・ 幼稚園や小学校の先生だと思う。その理由は、基本的に女性は賢く・優しく、教えられる素質を持っているから。又、肉体的な負担は他の職業と比較しても、まだ少ないから。(女性・19歳・大学生)

### アパレル・美容関連

- ・ 化粧品や女性用アパレル商品の販売。女性にしか分からない悩み・希望・こだわりがあるし、女性同士のほうが話しやすいから。(女性・29歳・正規の職員・従業員)
- ・ アパレル関係。女性なりの視点、発想が活かされそうなので。(女性・25歳・正規の職員・従業員)
- ・ 化粧品売り場の店員、下着売り場の店員。化粧品売り場の店員は、店員さんをみると、その化粧品でどんなふうに見えるのかわかるから。下着売り場の店員は、サイズ等を

はかってもらうときに男性にしてもらうのは嫌だから。(女性・28歳・家事に従事)

### **助産師**

- ・ ぱっと思いつくのは、助産師。現在も男性は就くことのできない仕事である。(女性・26歳・正規の職員・従業員)
- ・ 産婦人科医や助産師なども女性のほうが向いていると思う。妊娠中のこと、出産のこと、授乳(母乳育児の場合)のことなど男性にサポートすることはできても、主体となるのは女性自身だと思う。不安や悩みの解消など、同じ女性であり、経験者でもある方のほうが説得力もあり安心感もあると思う。(男性・17歳・高校生)
- ・ 助産師。妊婦がナーバスになっているときに頼りやすいから。(男性・25歳・正規の職員・従業員)

### **カウンセラー**

- ・ 心のケアなど優しいイメージの仕事が向いているように思う。(男性・18歳・大学生)
- ・ 女性は生まれつき左脳が発達しやすく、言語能力が優れていることが多いためカウンセラーや教師などの職業が向いていると思う。(男性・14歳・中学生)
- ・ 医者、カウンセラー。対男性は女性でも問題ないと思うが対女性については女性でないと心理面で難しいと思う。(女性・27歳・正規の職員・従業員)

### **その他**

- ・ 肉体労働以外の職業。理由：男性、女性の身体的能力によって職務に耐えうるかが規定されるような職業以外は、女性でも可能だと考える。(男性・20歳・大学生)
- ・ 商品企画・開発系の職業。男性よりも感受性が豊かな人が多く、日常生活で感じたことを形にして新しいものを生み出すのが向くと感じるから。(男性・25歳・自営業・自由業)

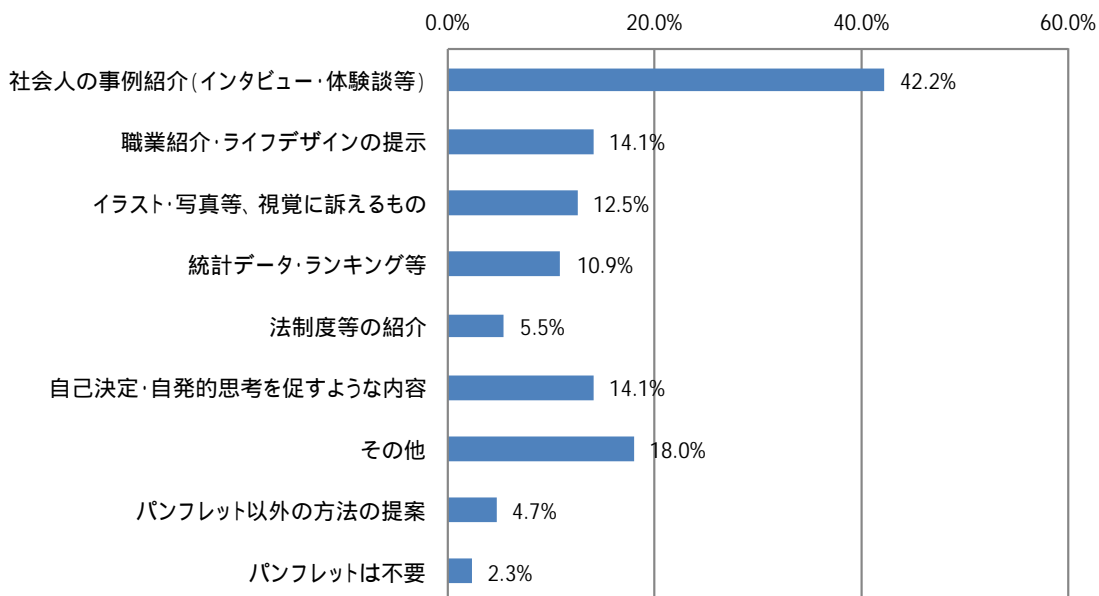
### **特になし**

- ・ 特になし。男性においても特になしなのが理由。性別は社会が作り出しているように思うから。(男性・21歳・大学生)
- ・ 本当に特殊な場合をのぞいて男女差はないと思う。(女性・13歳・中学生)
- ・ 正直な話、思いつかなかった。何故なら、どんな職業を答えても、男性の自分が言う限り、「それは女性差別じゃないか」とか、「君の見方は旧来の固定的観念の産物だ」といった反論を受けてしまいそうな気がしたから。(男性・22歳・パート・アルバイト)

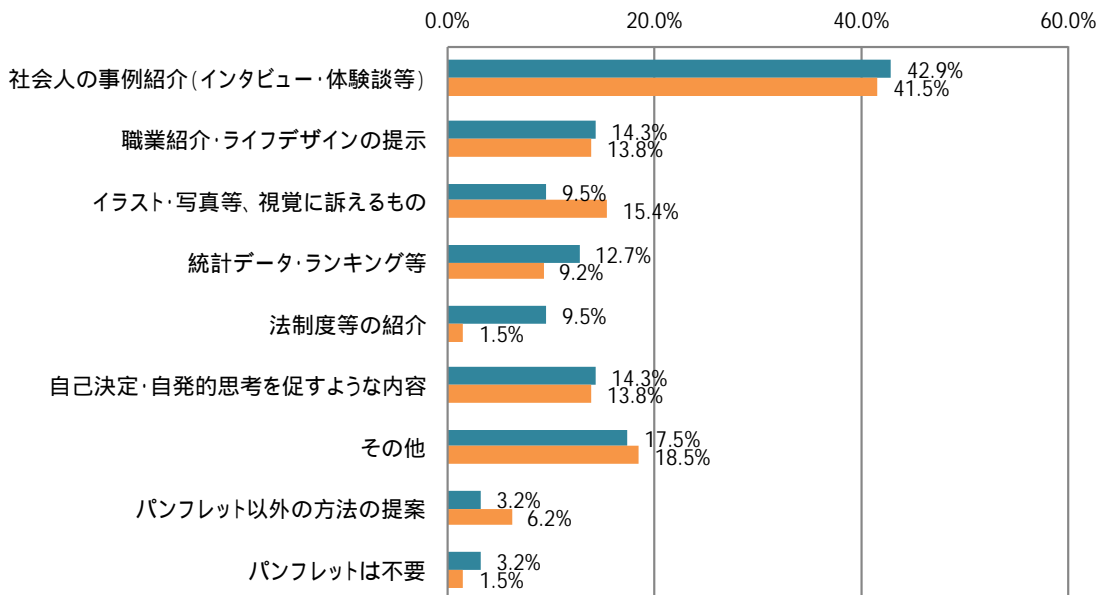
【問2】 社会では「男は仕事、女は家庭」というように性別を理由として役割を固定化する考え方がいまだ根強く、このような考え方が職業選択にも影響を与えることが懸念されます。性別にとらわれず、男性も女性もともに多様な選択肢の中から自分の希望する職業を選ぶよう、例えば、学校で使用する生徒向けのパンフレットを作成するとしたら、どのような内容を盛り込むと良いと思いますか。

### 全体的な傾向

「社会人の事例紹介（インタビュー・体験談等）」が良いという回答が 42.2% で最も多かった。「パンフレット以外の方法の提案」（4.7%）や「パンフレットは不要」（2.3%）といった意見も少数ながらみられた。



## 男女別の回答



## 職業別の回答

上段:件 下段:%	実合計	社会人の事例紹介(インタビュー・体験談等)	職業紹介・ライフデザインの提示	イラスト・写真等、視覚に訴えるもの	統計データ・ランキング等	法制度等の紹介	自己決定・自発的思考を促すような内容	その他	パンフレット以外の方法の提案	パンフレットは不要	
全体	128	54	18	16	14	7	18	23	6	3	
	100.0%	42.2%	14.1%	12.5%	10.9%	5.5%	14.1%	18.0%	4.7%	2.3%	
職業	学生	71	34	10	8	9	2	8	11	3	
		100.0%	47.9%	14.1%	11.3%	12.7%	2.8%	11.3%	15.5%	4.2%	1.4%
	正規職員	30	11	4	3	3	0	3	7	2	
		100.0%	36.7%	13.3%	10.0%	10.0%	0.0%	10.0%	23.3%	6.7%	6.7%
	非正規職員	23	7	4	5	1	5	5	4	1	0
		100.0%	30.4%	17.4%	21.7%	4.3%	21.7%	21.7%	17.4%	4.3%	0.0%
	家事従事者	4	2	0	0	1	0	2	1	0	0
	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	
無業者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	



## 【提出された主な意見の要旨】

### 上記の理由

#### 社会人の事例紹介(インタビュー・体験談等)

- ・ これまでに女性が活躍してきた事例を紹介すると効果があると思う。女性社員のアイデアが大きなヒット商品を生み出した事例などを具体的なエピソードと共に紹介することによって、女性が活躍することによって、これだけ社会に良い影響を与えることができたという証明にもなり得るし、理想像なども描きやすくなると思う。(男性・25歳・正規の職員・従業員)
- ・ 女性が多いところで働いている男性や、男性が多いところで働いている女性の話を書き、男性が向いているといわれる職場でも女性だからこそできること、女性が向いているといわれる職場でも男性だからこそ何ができることをのせれば、職種に対して男性・女性が向いているという偏見が少なくなると思う。(男性・23歳・正規の職員・従業員)
- ・ 自分の希望する職業を選ぶのに、今の時代だと将来を考えて大きな夢を持っていない人も多いと思う。そんな若い人たちに自分のやりたい事を見つけできるように人生の先輩方からのメッセージや、パンフレットにできるだけ多くの職業を紹介するなど生徒自身に選択肢を増やすなど工夫をすると良いのではないか。(女性・15歳・高校生)

#### 職業紹介・ライフデザインの提示

- ・ もしもこんな職についたならというようなシミュレーションをまじえた内容が良いと思う。(男性・25歳・正規の職員・従業員)
- ・ ジェンダーフリーの考え方で、いろいろな職業を紹介する中で、性別に関係なく職業を選べることをアピールすれば良い。(男性・19歳・専門学校などその他の学校の学生)
- ・ 学校で生徒向けのパンフレットを作るということは良いかもしれないが、まずは社会全体が変わっていかねばいけないと思う。だが、どのようなものが良いかといえれば、さまざまな仕事を取り上げ、それを男女それぞれが行えるということを示したり、それになるための道を示したりすると良いのではないか。(女性・19歳・大学生)

#### イラスト・写真等、視覚に訴えるもの

- ・ イラストや写真など視覚から受ける影響は大きいと思うので注意して使ったほうが良い。例えば看護師の絵で女性のイラストや営業の仕事で男性のイラストなどにするのではなく男女両方か、今の多いイメージと逆の性別の方を採用するなど。(女性・25歳・派遣社員・契約社員)
- ・ よくパンフレットに写真を掲載するが、男性のみや女性のみ写真が結構多い。得てしてその職業は男女比がどちらか一方に偏っているため、制服姿の写真を掲載する際は必ず男女両方載せる等、まずは視覚的情報から固定化を崩すような情報を発信すべき。(男性・29歳・自営業・自由業)
- ・ 漫画で作って読みやすくしたら良いと思う。(女性・28歳・派遣社員・契約社員)

## 統計データ・ランキング等

- ・ 過去から現在までの職業別・年代別の性別比率をパンフレットの内容にしっかりと盛り込む。さらに、今後5年後・10年後の女性の管理職の割合、数値化データも加える。次に、男女の地位向上についての考え方や取り組み方等を的確にアドバイスできる内容をパンフレットに盛り込む。(女性・19歳・大学生)
- ・ 男性と女性の脳の発達の違いなどを取り上げ、男女、個人間で能力に違いがあることを理解させ、その能力を生かせる仕事に就くのが大切であると気付かせる。そのために、男女の脳のMRI画像や空間能力のテスト結果、多くの職業の男女比率などの表を記載すると良いと思う。(男性・14歳・中学生)
- ・ 男性に向いている仕事。女性に向いている仕事の事例集・ランキング。(男性・23歳・大学生)

## 法制度等の紹介

- ・ きれいごとを並べても心を動かすことはできない。よって、職業選択の自由を性別に縛られることなく万人にあるのだという旨の条文なり噛み砕いた文章などを記載し、自己選択性の重要性をPRする必要があると考える。そうしなければ固定観念を動かすことは難しいのではないだろうか。(男性・29歳・自営業・自由業)
- ・ 「男子女子の線引きを無くした内容」を心掛けた上で、「日本の保障や福祉を十分に説明すること」が重要であろうと考える。働きやすい環境、例えば結婚しても男女共に育児が容易になる制度の紹介など。(男性・27歳・自営業・自由業)
- ・ 男女雇用機会均等法の内容とともに、実際に「男性にふさわしいと思われる職で働く女性」や、「女性の多い中で働く男性」の写真などをつけくわえると良いかと思う。(女性・27歳・パート・アルバイト)

## 自己決定・自発的思考を促すような内容

- ・ まず、最初にあなたは将来どんな職業に就きたいですかという設問を用意して、そのあとその職業の男女比率を見せてどう思うか問いかけるようなものが良いかと思う。それからもしあなたが結婚したらどうしますか、というような設問を用意して、それぞれのイメージをきいてみるのが良いかと思う。さらに自分が雇用する側に立った時、どのようにして採用するか考えるようなものも必要だと思う。雇用される側の意識が変わったとしても、雇用する側の意識が変わらなければ根本的に解決しないと思うから。(男性・17歳・高校生)
- ・ 個性を生かした職業の選択を進めるような内容。実は男性のほうが手先が器用だったり女性のほうが大胆だったり、外見や性別に関係なく潜在能力も含めた個性を生かした生き方を推奨する「これが正解」という生き方模範を作らないほうが実社会に出たときに役立つような気がする。(女性・27歳・家業の手伝い)
- ・ 偏見をなくすためにはまず、様々な職業における男女比などを提示した上で、現状そこに差があろうとなかろうと、「職業選択において性別は関係なく、なりたいと思うものを自由に考え、決めて良い」ということを盛り込み、子どもたちがそれが正しいと信念を持って家族・友人・社会等に対して主張できるようにしなければならないと考

える。(男性・29歳・パート・アルバイト)

### その他

- ・ 固定観念度があるかチェックリストで質問を作る。ゲーム感覚、心理テスト感覚のものが良いと思う。(女性・19歳・専門学校などその他の学校の学生)
- ・ 親にしっかりと自分の意見を伝えることが大事である。親子間のコミュニケーションを助長するような内容のパンフレット、例えばチェック方式で、日頃の状況から確認していくなどが効果的。(男性・17歳・高校生)
- ・ 職業上の性別にふれるなら、性別マイノリティーに対する内容も盛り込むと良いと思う。性同一性障害の方等に対する配慮がなければ、該当する方々が疎外感を感じてしまうから。年齢問わず、性同一性障害等の方々は存在している。(女性・29歳・自営業・自由業)

### パンフレット以外の方法の提案

- ・ twitterにて論議する場を提供して頂き、いろんな性別で議論したい。(女性・22歳・大学生)
- ・ 理系の仕事はイメージがしづらいと思うので、叶うなら現場(理系職の)に実際に足を運んでみるのが一番効果的だと思う。(女性・20歳・大学生)
- ・ まず大人が自分たちには様々な権利を持っていることを実感し、それを子どもたちに伝えていってほしい。具体的な方法の1つとして、CAPという団体を学校や子どもが集まる場所に招いてワークショップをするのも良いと思う。地区によっては、CAPを熱心に取り入れている場所もある。(女性・26歳・正規の職員・従業員)

### パンフレットは不要

- ・ 生徒向けのパンフレットをつくっても、上の世代(社会)が変わらないため、あまり意味がないと考える。(女性・23歳・正規の職員・従業員)
- ・ 企業の待遇をまともな水準に戻し、仕事に対する希望が持てる社会を作って初めて職業選択における性差別の解決という課題のスタートラインに立てるのではないだろうか。僕は、上で述べた今の家庭の実情を鑑みれば、時間の経過によってこの国がスタートラインに立てるような時期にすれば自然と、職業選択における性差別なんてものは過去のものになるのではないかと思う。(男性・20歳・大学生)
- ・ パンフレットを作るための費用が無駄なので不要。「雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律」が正式な法律として既に施行されていることを学校でちゃんと教えること。法律に従っていない企業・団体への指導・罰則などを役所がちゃんとやること。そういった「やるべきことをちゃんとやること」の方が大事。学生へのメッセージの問題ではない。(男性・27歳・正規の職員・従業員)